

ボーリング柱状図

調査名

事業・工事名

ボーリングNO.

シートNO.

ボーリング名	BV-1	調査位置					北緯	36° 20' 27.5817"	
発注機関	栃木県足利土木事務所				調査期間	2005-08-29 ~ 2005-09-07		東経	139° 26' 22.3488"
調査業者名	主任技師				現場代理人	コ	ア	ボーリング責任者	
孔口標高	45.99 m	角度		方向		地盤勾配		使用機種	試錐機
総掘進長	8.33 m	度	180°	上	90°	方	北 0° 東 90° 南 180° 西 270°	鉛直	0°
			下	0°					エンジン
									ハンマー落下用具
									ポンプ

標尺	層高	深度	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事	地層岩体区分	孔内水位 (m) ／ 測定月日	標準貫入試験					原位置試験	試料採取			室内試験	掘進月日		
											深度	10cmごとの打撃回数			打撃回数 ／ 貫入量		深度	試験名および結果	深度			試料番号	採取方法
												0	10	20									
(m)	(m)	(m)	(m)							(m)	(m)					(m)		(m)					
1	44.54	1.45	1.45		暗褐色			チャート礫を混入する礫混じり粘性土。礫は角礫状を呈し堅硬。礫径はφ5mm～3cm程度。やや有機質であり、草根の侵入が見られる。含水は低い。			1.15				28								
2								崖堆積物。含水は低い。混入礫はチャートの角礫であり、φ2mm～3cmで分布する。			1.45	9	9	10	30	28							
3					褐色						2.15				33								
4	41.64	2.90	4.35								2.45	10	11	12	30	33							
5	40.99	0.65	5.00		淡褐色			礫状～片状コアを呈する。風化程度は低く、岩片は堅硬である。			3.15				41							08/29	
					暗灰～暗褐色			チャート角礫を混入する。5.38～5.45mは新鮮堅硬なチャートの転石。			3.45				30								
6	40.36	0.63	5.63					片状のチャート礫を主体とする。礫は亀裂沿いに風化しているが比較的新鮮で堅硬である（ハンマー打撃で金属音を発する）。亀裂間には粘土を挟在し、帯赤褐色を呈する。			4.15			15	50	>50							
					淡褐色						4.40	17	18	5	25	>50						08/30	
7											5.15			19	50	>50							
											5.38	14	17	3	23	>50						09/03	
8	37.66	2.70	8.33								6.00	50	0		50	>50						09/05	
											7.15			11	50	>50							
											7.40	17	22	5	25	>50							
											8.15		24		50	>50							
											8.33	26	8		18	>50						09/06	